

第 5 次 御宿町総合計画

概 要 版

ひと・マチ・自然が つながり つなげる
「ちょうどいいまち」御宿



ONJUKU



令和 5 年 3 月

御 宿 町

1

総合計画って なんだろう？

総合計画 とは？

総合計画は、「まちづくりの最も基本となる計画」とも言えるもので、御宿町の行財政運営の長期的な指針となる、町政運営の基本となる計画のことです。

町の特性や課題、そして時代の流れなどを的確に見極めながら、将来、御宿町をどのようなまちにしていくのか、また、そのためには、だれが、どのような手法で取り組んでいこうとするのかを取りまとめた計画書です。

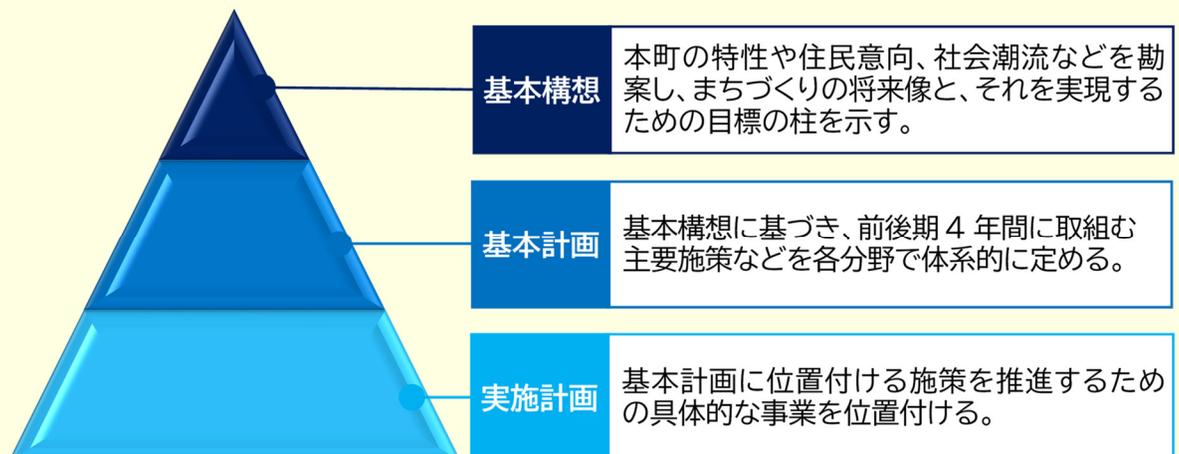
少子高齢化による人口減少の進行や頻発する大規模な自然災害、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等による価値観やニーズの多様化など、目まぐるしく変化する環境の変化に対応し、住民の皆さんとまちづくりを進めていくための指針として、「第5次御宿町総合計画」を策定しました。

計画の構成 と期間

総合計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3層で構成し、このうち、「基本構想」「基本計画」を計画書としてまとめています。

令和5年度（2023）を初年度とし、令和12年度（2030）を目標年次とする8年間の計画とします。

また、基本計画と実施計画は、計画の期間を前後期4年間に分けて取り組みを進めていきます。



2

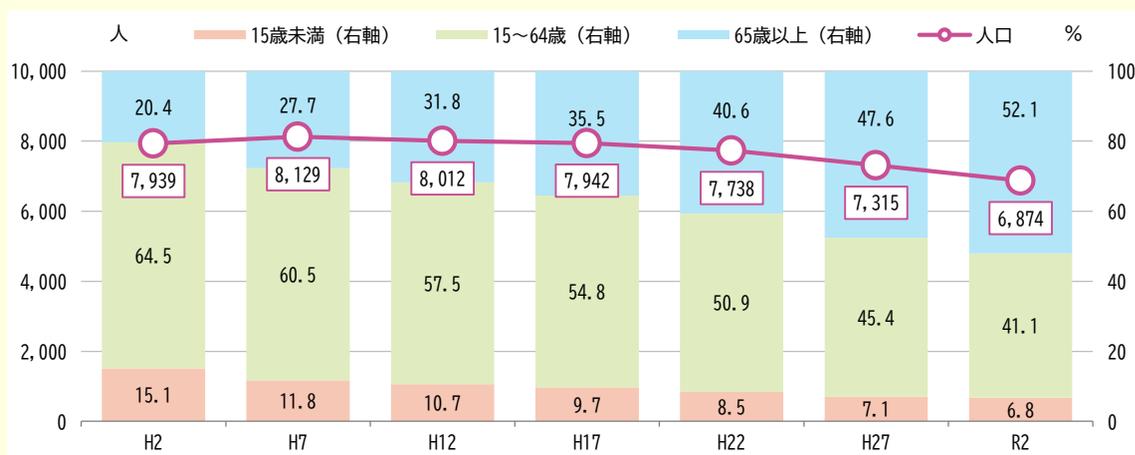
御宿町は いま、どんな状況？

人口減少が徐々に進み、高齢化率が増加しています

御宿町でも人口減少や少子化の問題が深刻になっています。平成 7（1995）年に約 8,100 人いた人口は、令和 2（2020）年には 7,000 人を下回っています。

また、生産年齢人口（15～64 歳）と年少人口（15 歳未満）が減少しつつあるのに対し、老年人口（65 歳以上）は増加傾向にあり、令和 2（2020）年の高齢化率は約 50%となっています。

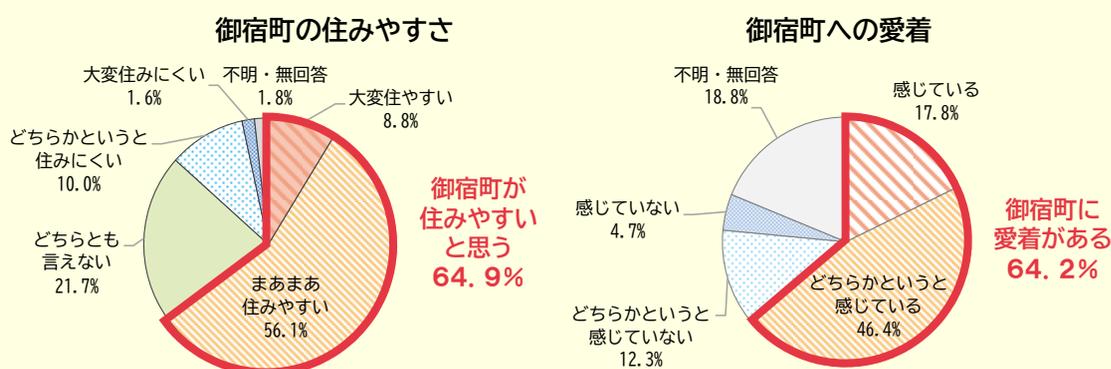
御宿町の人口と年代別人口の割合の推移



御宿町が住みやすいと思う町民、愛着がある町民は6～7割

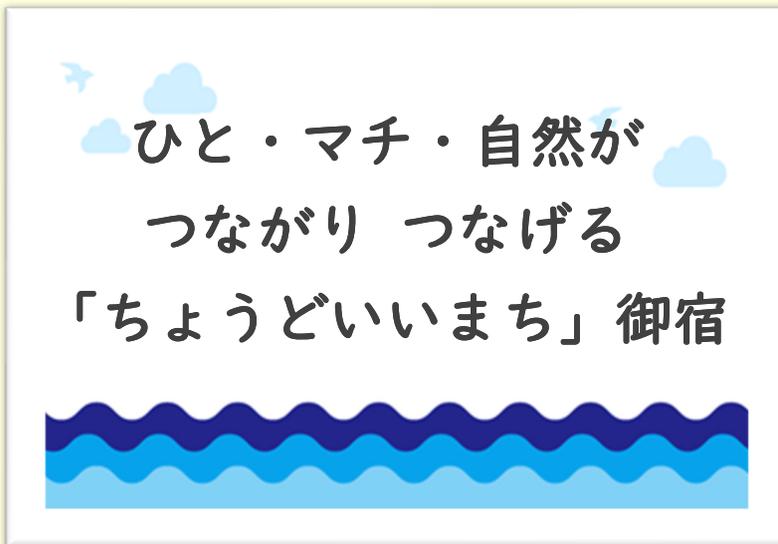
住民アンケート調査によると、「御宿町が住みやすいと思う」と回答した割合、また、「御宿町に愛着がある」と回答した割合はそれぞれ約 65%でした。

今後はまちづくりを進めていくながら、これらの割合を増やしていき、誰もが住みやすいと思える御宿町をつくっていくことが重要です。



3 御宿町の目指す 未来の姿は？

令和5年度(2023)～
令和12年度(2030)の
8年間で目指します！



住民ワークショップでいただいた様々なキーワードをもとに、8年後の町の将来像を左記のように決めました。

御宿の資源である「ひと」「マチ」「自然」が様々な形でつながることによって、生活環境の向上や時代への対応、新しいことにチャレンジしていく。そして、このつながりが広がって新しいつながりを生み出すことで、より住みよい御宿町を目指します。

また、御宿の資源や文化、気質などを生かし、「都会ではないけど、田舎過ぎず、のんびりした時間を過ごす」ことができる、「ちょうどいいまち」を目指します。

こんな視点からまちづくりを進めます

SDGs(持続可能な開発目標)との連動

SDGs(持続可能な開発目標)とは、平成27年の国連サミットで採択された令和12年までに達成すべき国際目標です。地球上の「誰一人取り残さない」ことを理念に17のゴール(目標)で構成されています。



御宿町においても、「S(サステナブル:持続可能な)」を念頭におきながら、様々な分野で「御宿版 SDGs」を推進します。

地方創生の取組みとの連携

持続可能なまちづくりに向けては、人口減少対策と地域活性化は御宿町にとってとても重要です。

このことを踏まえ、御宿町が若者や子育て世帯を中心に定住先として「選ばれる」ための取組みを進めていきます。



DX化の推進

町の様々な課題と向き合っていくためには、交通、商業、ビジネス、医療、エネルギー、行政などあらゆる都市機能自体をデジタル化に対応した形に大きく転換していくこと(DX化)が求められています。

本町においても、地域課題・社会課題の解決に向けた御宿町DX化を推進していきます。



With/After コロナにおける「新しい暮らし」の確立

With/After コロナにおける新しい日常の創造と持続可能な地域社会の構築が求められています。コロナ禍だけでなくコロナ収束後までを見通して、新しい日常や持続可能な地域社会の構築を進めます。

4 御宿町はどんなことに 取り組んでいくの？

前期期間（令和5年度（2023）
～令和8年度（2026））で
取り組みます！



目標の柱1

つながる【協働・行政運営】

住民と行政がそれぞれの役割を担い、一体となってまちづくりに取り組むとともに、限られた財源の中で時代の変化に誰もが対応し続けることができる、人々がつながる協働のまちづくり・行政運営を目指します。

1 行政参加・ コミュニティ

- 住民の行政参加推進と開かれた町政運営に取り組みます！
- 充実した行政情報を効果的に提供します！
- 住民主体の地域づくり活動を支援します！
- 住み続けられるまちづくりに向けた移住定住施策を推進します！

2 行財政運営

- 効率的な行政運営を行います！
- 持続可能な財政運営に努めます！
- 効率的な公共施設運営を図ります！



3 広域連携・ 産学官連携

- 広域連携による行政サービスの合理的・効果的運用を図ります！
- 国保国吉病院組合における経営安定化対策を推進します！
- いすみ鉄道の安定運行と地域の活性化を図ります！
- 多様化する地域課題に対し、企業や大学と連携を図ります！



わたしたちができること

- 御宿の魅力を外の人に伝えよう！
- 納付期限内に納付しよう！
- 近隣自治体のことをもっと知ろう！

備える【防災・安心・安全】

住民一人ひとりが自然災害に対する高い意識を持ち、万全な防災対策を確立するとともに、住民・地域・行政が一体となり、犯罪や交通事故を減らすことができる、防災・安心・安全のために備えるまちを目指します。

1 消防・防災

- 地域における消防力の充実を図ります！
- 地域防災力の強化を図ります！
- 災害に備えた体制を整備します！



2 防犯・交通安全

- 防犯対策の充実を図ります！
- 交通安全対策を推進します！
- 住民の消費生活の安全を確保します！



わたしたちにできること

- 消防団活動の重要性を理解し協力しよう！
- 地域の防災訓練に積極的に参加しよう！
- 地域の防犯活動に参加しよう！
- 交通ルールを守り、正しい交通マナーを実践しよう！
- 相談窓口を把握し、トラブル等が発生した場合に備えよう！

支え合う【福祉・医療】

少子化・超高齢社会において、住民が生涯にわたり健康づくりに取り組むとともに、高齢者、障害のある人など、誰もが生きがいを持ち、社会と関わりながら、健やかに自分らしく暮らし続けることができる、地域で支え合うまちを目指します。

1 地域福祉・共生

- 地域の住民がともに支え合うまちづくりを推進します！
- 福祉ボランティア活動の充実、拡大に努めます！
- 生活困窮者の自立支援相談を行います！
- だれもが活躍できる環境づくりを推進します！

2 障害者福祉

- 障害者支援体制の充実を図ります！
- 相談支援の充実を図ります！
- 権利擁護を推進します！
- 障害者の差別解消に努めます！

3 高齢者福祉

- 地域包括ケアシステムの深化を進めます！
- 高齢者の生きがいづくりの充実を図ります！
- 認知症施策を推進します！
- 権利擁護を推進します！

4 保健・医療

- 周知啓発と健（検）診の受診勧奨を進めます！
- 地域ぐるみの健康づくりを進めます！
- 総合的な食育事業を展開します！
- 「こころの健康づくり」を推進します！
- 新型コロナワクチン接種など予防接種の勧奨を進めます！
- 地域医療体制を充実します！

5 国民健康保険・後期高齢者医療

- 各種社会保障制度の安定運営に努めます！
- 医療費の適正化を図ります！
- 国保資格の適正化に努めます！
- 保健事業の推進により、生活習慣病予防に努めます！
- マイナンバーカードの健康保険証利用を促進します！



わたしたちにできること

- 他人事にならず、困っている人に声をかけてみよう！
- 障害や障害者について理解を深めよう！
- 多世代が交流する機会に参加しよう！
- 適度に運動し、健（検）診を受診しよう！
- 特定健診を受診しよう！
- 自分の健康について関心を持とう！

育む【子育て・教育】

安心して子どもを産み育てられる環境の中、子どもたちが地域社会全体で見守られながら元気に育つ環境を整えるとともに、確かな学力を備え、たくましく成長し、生涯をとおして学ぶことのできる、地域で育むまちを目指します。

1 子育て支援

- 妊娠・出産・子育てに係る切れ目のない支援を行います！
- 子育て家庭を支え合う環境づくりに取り組みます！
- 保育サービスや施設の充実を進めます！
- 放課後児童健全育成事業の充実を図ります！

2 学校教育

- 計画的に学校施設を整備します！
- 個性や能力を伸ばし、たくましく生き抜く力を育む学校教育を充実します！
- 特色ある教育活動の充実に取り組みます！
- 安全で安心な学校づくりに取り組みます！



3 青少年健全育成

- 保護者や地域との連携を強化します！
- きめ細かく家庭教育を支援します！

4 生涯学習

- 住民の生涯学習を推進します！
- 運動・スポーツを楽しむ機会を提供します！
- 社会教育・体育施設の計画的な改修と運営を推進します！



わたしたちにできること

- あいさつなど、地域の子どもを見守ることを心がけよう！
- 通学時における見守りに協力しよう！
- 青少年育成活動へ参加しよう！
- 社会教育施設を積極的に利用しよう！

引き継ぐ【自然・文化】

住民の環境に対する高い意識と行動により、自然と共生した持続可能な省資源・循環型社会を実現するとともに、町の歴史・文化財産を保存・継承する、後世に御宿の自然と文化を引き継ぐまちを目指します。

1 自然環境

- 豊かな自然環境を保全します！
- 森林・ため池の保全を推進します！
- 地球温暖化対策を推進します！



2 文化振興・交流事業

- 文化財の保存と後継者の育成に取り組みます！
- 姉妹都市等との地域間交流を促進します！



わたしたちにできること

- 環境問題を学び、家庭のゴミを減らそう！
- 御宿町の文化財や姉妹都市のことを、しらべてみよう！



住まう【住環境】

住民の暮らしを支える生活道路の整備をはじめ移動手段の確保対策、生活環境の保全により、子どもから高齢者まで、誰もが暮らしやすさを実感できる、まちと自然が調和した、人々がいつまでも住まうまちを目指します。

1 道路・河川

- 安全・安心な道路整備を計画的に進めます！
- 日常生活に密着した生活関連道路の維持管理を行います！
- 計画的に河川の維持管理を実施します！

2 地域交通

- 地域公共交通の維持・充実を図ります！
- 住民の移動手段の維持と利便性の向上を図ります！



3 生活環境

- 快適な住環境づくりを推進します！
- 町営住宅の適正管理に努めます！
- 公園施設・公衆トイレ等の環境維持に努めます！
- ごみの減量・再資源化を推進します！

4 水道

- 経営の健全化を図ります！
- 持続可能な水道施設の計画的な改修を実施します！



わたしたちにできること

- 道路の簡易な維持管理に地域で協力して取り組もう！
- 公共交通機関を利用しよう！
- 身近な住環境に関心を持ち、景観の維持に努めよう！
- 水道は適切に、大事に利用しよう！

生み出す【産業・観光】

地域経済の縮小などの環境変化に対応し、本町の特色でもある水産業や観光業をはじめ、多様な地域資源などの強みを生かしながら、産業の持続的な発展や交流人口・関係人口の拡大などを図り、誰もが住み続けたいと思える、活力とにぎわいを生み出すまちを目指します。

1 農林業

- 新規就農者や担い手への支援、農地の維持、営農の安定化対策を推進します！
- 地域や風土に適した作物の検討、高付加価値作物の生産を推進します！
- 地産地消、特産品の開発を推進します！

2 水産業

- 特色ある漁業資源の保護、漁場の保全を推進します！
- 地産地消を推進し、水産物の魅力を広く発信します！
- 漁業経営の支援、漁業従事者の確保対策を推進します！
- 漁港・海岸保全施設の維持・管理に努めます！



3 商工業・雇用創出

- 商工業の活性化を図ります！
- 特産品開発とブランド化による経済効果を推進します！
- 商工会との連携を強化します！
- 多様な働き方を推進します！

4 観光

- 魅力発掘・開発を推進します！
- 観光資源のネットワーク化を図ります！
- 観光客の受け入れ体制の充実を図ります！
- 地元産品を活用した観光振興に取り組みます！



わたしたちにできること

- 地域の特産物や海産物をアピールし、地元の産品を購入しよう！
- 地元で買うことを意識してみよう！
- 御宿の良いところを積極的に発信しよう！

ち よ う ど い い ま ち

第5次御宿町総合計画の策定にあたっては、策定委員会をはじめ、まちづくりワークショップや住民アンケートなどを実施し、より多くの住民の皆さんの声を反映させるよう心掛けました。

その中でも、まちづくりワークショップは、新たな手法として、地元住民、移住者、各種産業従事者、医療福祉関係者など、様々な分野の方、また、公募にて申込みいただいた住民、20～70代の多世代の方の中で、それぞれの町への想いをたくさん出していただき、町にとって非常に有意義なワークショップとなりました。

ありがとうございました。

今回の計画の町の将来像である、

ひと・まち・自然が つながり つなげる「ちょうどいいまち」御宿

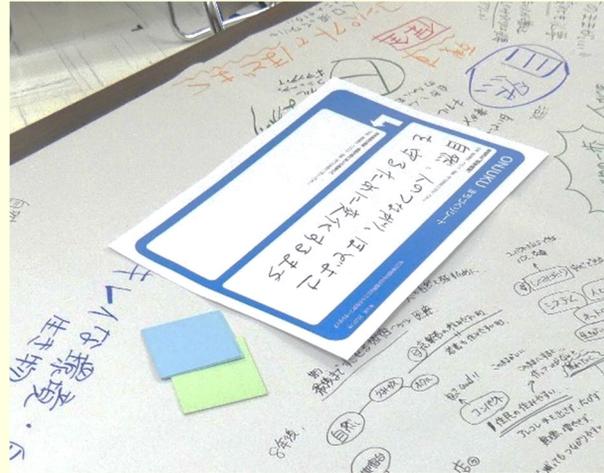
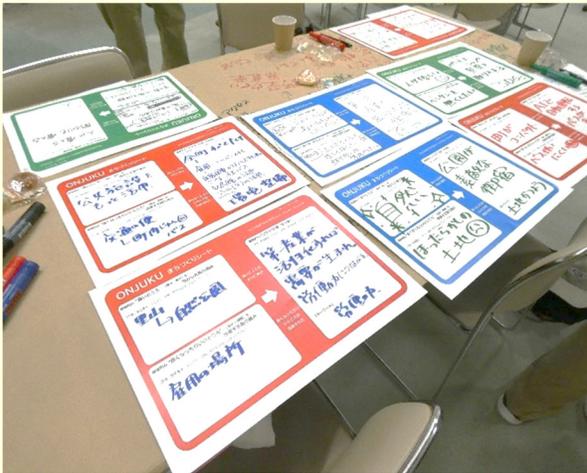
は、こうしたワークショップ参加者をはじめとした住民の想いを1つにしたものです。

今回の計画では、施策ごとに「町が取り組むべきこと」のほか、町の将来像に向け、住民一人ひとりの「わたしたちにできること」の項目を設け、そこもワークショップ参加者のご意見を参考に記載させていただきました。

この計画を読んでもらって、住民の皆さん一人ひとりにおける、

「わたしたちにできること」を一緒に考え、

8年後の「ちょうどいいまち 御宿」をみんなで創りつないでいきましょう。



第5次御宿町総合計画 [概要版]

令和5年3月

発行：御宿町

編集：御宿町 企画財政課

〒299-5192 千葉県夷隅郡御宿町須賀 1522

TEL：0470-68-2511（代表）

URL：<https://www.town.onjuku.chiba.jp/top.html>